

周望学舎



かわら版

第3号

～コース紹介特集号～



平成 26 年

12月

発行
周望学舎
新聞編集
委員

■地域ふれあいコース■

おもいやり

地域ふれあいコースで、今迄知らなかった地域との係わりについて多くの事を学んだ。私と同じ、ごく普通の人がボランティア活動をされ、弱者の手助けをされているということだ。真似の出来ない素晴らしいことだと思う。

しかし、私にも一歩を踏み出せと暗に云う。先日、研修の中で老人施設を訪問し、疑似ボランティアを実践した。心地よさが残る。これなら機会があれば自分にもできると思った。研修生の一人は、障害者の手作り品に感動し、大学祭で作品を販売、大変喜ばれていた。これも立派なボランティアである。

地域の中で生活しているのだから隣人に寄り添って生きるべきだと悟り、これからは実践していこう。

(文：審亮一)



(ある日のホームルーム)

■心と身体の健康コース■

仲間づくり

まず驚いたことは、クラスの男女構成が女性25名・男性7名の合計32名ということでした。行ったことはありませんが、もしあるとしたら「女護が島」とはこんな所ではないかと思いました。

さて、推薦により囃らずも委員長に就きましたが、登校初日の役職決定はアツという間に決まり、またスポーツ大会を皮切りに実行委員のリーダーシップにより大学祭・修学旅行もスムーズに進み、たのもしいかぎりです。

不肖・小生は女心にうとい無骨者ですが今後とも女性中心に物事を判断し、周望学舎のモットーでもある仲間づくりに大きい身体を小さくして務め、残りわずかな学舎生活を有意義に過ごし、すばらしい修了式を迎えたいと思います。

(文：秋山勲)



(姿勢・歩き方講座)

■健康づくりサポーターコース■

一致団結

秋晴れの9月17日皿倉山へ登山に行きました。体力により帆柱ケーブル山麓駅で、登山組とケーブルカーにてビジターセンターまで行く組とに別かれました。同センターから山頂までは車道がない、自力で歩くしかありません。道幅が狭い所、また勾配ある所を山頂めざして力をふりしぼり、全員が完遂することが出来ました。山頂では自身を含め息が荒い人、また多量の発汗でぐったりした人がいましたが全員無事だったので充実感がありました。

私のコースは軽登山などの体力づくり、囲碁ボールなどのニュースポーツ、ストレッチ理論と実践などを研修中です。ゲームなどは各班またはクラス全員が一致団結して頑張ります。それにより仲間を作ることが出来ました。

(文：深津正義)



(シルバーバンク研修)

■国際情報コース■

楽しいな 国際情報コース

私達、国際情報コースは男性 18 名、女性 23 名の平均年齢 74.4 歳。学舎初入学 2 名を除く全ては経験者です。同コースに二回目が 10 人程度おり、ベテラン揃いで人生経験も豊富な方々ばかりで、クラスのまとまりが大変良く日々を楽しく学んでおります。主に外国人講師によるそれぞれの国の文化や風習等ユーモアたっぷりの授業内容に、いつも教室内は笑いが絶えません。また、指導員はじめ海外経験者（海外旅行者含む）が多く、講師とのやりとりも深いものがあります。各国の文化や生活様式等を学びより知識を深めながらコースの皆さんとの心の交流を大切に国際社会一員として、残り少ない学舎生活を楽しく学んでいきたいと思っております。

(文：緒方邦雄)



(長府散策)

■アジアを学ぶコース■

アジアを知り日本を知ろう

近隣諸国の動向から目が離せない今、アジアについて学ぶことの意義深さを感じる。これまで十数か国について、歴史・文化を始めとするその国の概要や現在の情勢を学び、更にはミャンマーのアウン・サン・スーチー、タイの政情、東アジアとTPP交渉等のテーマについても学んだ。時には意外な事実や日本との違いに皆が驚き、そして魅力的な観光地や食の話から直ぐにでもそこへ行ってみたいと思った人も結構いたようだ。

又、海外ボランティア活動の経験談も興味深かった。特に、長年ネパールの僻地で住民の生活向上の為に個人で活動を続ける本人の話は感銘を受けるものであった。

研修前半を終え、このコースで学んで得た知識や経験は、アジア諸国への理解をより深め、日本のあるべき姿を考える上で役立つ貴重なものだとの思いを強くしている。

(文：榎丸靖幸)



(大学祭でアジアのファッションショー)

■ふるさとの文化コース■

郷土 ふるさとを学ぶ

「このコースがお薦めよ。」親友の言葉に半信半疑、心は動揺しながらも初めて学舎の門をくぐった。

朝のホームルームから笑顔が教室に漂い心とむ「ふるさとの文化コース」である。

北九州の文化財を守る会の廣崎会長、元NHK北九州放送局の矢野局長、福岡県川柳協会の古谷会長など多様な講師陣が並び、それぞれに趣きある内容で興味深い。

また、井手浦浄水場、埋蔵文化財センター見学、キャンプ場での野外研修も楽しい思い出として心に残っている。指導員の活動的な行動と熱意が私達にも伝わり、研修も必然的に盛り上がり、今後の研修にも期待する毎日である。

(文：中村登美香)



(大学祭にて)

■生活情報コース■

情熱学習で地元密着地産地消

地産地消の講義を受けた。

「地元いちばん!! 地元を食べて、元気な北九州」という事で、我がコースでは上記の目標を掲げた。

北九州市には、山、海、農家に沢山のブランド品があります。市の経済局のご指導をいただきながら、これを大学祭でPRする事にしました。演芸発表・学習発表と地産地消PRの三本の柱を計画した。

幸いにして、玄関ロビーという一等地をいただき、プレッシャーを感じ英知をしばり当日を迎えた。2日間共大盛況で、地元農産物約 400 点をPRし販売する事が出来た。

皆様方のご協力に感謝し、今後も情熱学習を合言葉に地元密着で還元出来るように努力したいと思っています。

(文：上田奎二郎)



(大学祭での地元農産物販売)

■歴史に学ぶコース■

歴史の再発見で感動新た！

今年度の「歴史に学ぶ」コースは、初研修生を多数含み年齢幅も広い仲間ですスタートしました。

研修計画は、郷土に関わりの深い歴史探訪、歴史の裏話や先人の知恵を学ぶ内容を専門研究者による知己に富んだ講義です。当時代に活躍した人物の見方を表裏・機微に富んだ内容で、「歴史再発見・感動新た！」の楽しいロマン・夢体験でもある。

折しも、今年の大河ドラマは「軍師官兵衛」である。軍師に優れた施政者であったことを再評価、郷土の誇りとしたいものである。

歴史再発見による感動を今後の生き方に活かし、歴史伝承を図る取組をしようと思います。(文：宇田純典)



(大学祭にて)

■健康管理コース■

健康にバンザイ！

健康管理コースと聞くと、随分かたい感じを受けがちですが、実際の授業風景では、イヤイヤこれまた自然体で活気あふれる元気軍団たちでした。

体育館では、気功・太極拳・ヨガ・ひまわり太極拳で、呼吸・姿勢・動作方法を学び、普段眠っていた筋肉の悲鳴があちこちで聞こえてきます。野外では、軽登山・ウォーキング・野外活動等で「暑か」「きつか」と汗をかきながら体にムチを打ち体づくりを実践しています。教室では、体のしくみ・予防医学・栄養学等を時には目をこすりながら気合を入れて学んでいます。

我がコースは、研修を通して「健康」をキーワードに「生きがいつくり」「仲間づくり」「体づくり」を目標に、皆と助け合いながら日々励んでいます。

(文：江副伸久)



(デイ・キャンプ)

■暮らしと環境コース■

「誰もが暮らしたい街」を目指して

「日々の暮らしが環境に与える影響や身近な環境問題について考える」私達のコースは、男性17名・女性25名、総勢42名が受講しています。特筆すべきは、周望学舎で最高齢受講者(95歳)が在籍し、講習はもとよりスポーツ大会・大学祭等にも積極的に参加されていることです。コース全員がエネルギーとやる気をもらって、和気あいあいと楽しく学舎生活を送っています。

私達は、暮らしと環境について学びながら、世界に誇れる環境未来都市北九州市の市民として一人ひとりが快適な環境を創造し、横に広めながら北九州市の更なる発展を胸に、微力ながら率先実行し、大輪の花を咲かせるべく今後も注力していければと思っています。周望学舎内でも人気のあるコースとして、後期講習も暮らしに役立つ環境問題の講義を期待しております。

(文：友定勝美)



(大学祭の展示物)

■社交ダンス入門コース■

青春広場

昨年暮、七十歳を前に退社し滑り込みで周望学舎社交ダンス入門コースへ入学させて頂き、「さぞかし自分は年長者だろう」と想像していた。しかし、コース内の自己紹介で八十二歳の方がいらっしやりビックリ。職種も様々な分野で活躍された方や、いまだに現役で頑張っている方、周望学舎歴十数年の兵(つわもの)まで様々で我が想いは粉々に粉砕されてしまった。

24名の仲間は社交ダンスへの情熱を持ち、素晴らしく造詣が深く、年齢等全くお構い無し。これらの方々の薫陶宜しくレッスンに励んで来た。この九ヶ月間に色々な行事や出来事が有って、新しい友人も出来、友情を育んでいる。今まさに青春真只中 Palpitation!

(文：町田音吉)



(ワルツの授業)

■花と野菜づくりコース■

周望学舎での学びの喜び

花と野菜づくりコースへ、希望を胸に…。

早いもので6ヶ月を経過しました。取り組み戦ったスポーツ大会、白野江公園へのバスハイクなど。大学祭ではみんなで行橋へ行き、花の買い付けをして玄関口にハンギングバスケットや寄せ植えを飾り、楽しい日々を過ごすことができました。また、新たに学んだ講義は日々の生活やボランティア活動に非常に生かせる内容であり、日々に喜びを感じています。

尚、28名の受講者との出会いにより、新たな人と人とのつながりが地域へと広がった事に、良き人生の思い出が増えました。この事に感謝し、後半の研修に全員がご健康に出席出来ますことを願っています。大変ありがとうございました。(文：嶋村榮二)



(外の畑での授業)

■写真入門コース■

32人のすてきな仲間たち

知識欲旺盛&研究熱心な32人の仲間です。登校すると廊下の掲示板の前に集まって、互いの作品を見ながら写真談義が始まります。気づきや学びがドッサリです。

授業の合間の休憩時間にも、仰木先生を囲んで質問をしたり、意見を求めたりする人の姿が多く見られます。時には突飛な発言が飛び出して先生の苦笑を誘ったり、みんなが爆笑したりすることも。

スポーツ大会や大学祭に、みんなで燃えて取り組み、仲間の絆はゆるぎないものとなりました。「OB会を作ろう」今からもう、そんな声があがっています。まさに、「写真入門コース」isベストメンバー

楽しく、充実した時間が過ぎて、とっても幸せです。(文：高内 訓子)



(熱心に講師の話をきく研修生)

■陶芸コース■

無心に作る喜びを感じて

陶芸コースは現在20名、和気藹々、気持ちの良いクラスです。それに親切な先生方が熱心に指導されています。

声ひとつなく制作に励む人、冗談交じりの会話が弾むグループ、また思うようにならず途中泣きが入る人もいましたが、誰一人遅れることなく、何とか作品をものにしました。窯出しの時、割れていないことにホッと、次に自分が作ったとは思えない出来映えにひとり悦に入りました。上手くはないが、それぞれ二つと同じものが無い個性的な作品ばかりです。これまで、茶碗、花器、宝石箱、香炉を作り、鉢カバーと二重香炉を製作中です。

2月上旬リバーウォークで修了記念作品展を行いますので、是非ご来場下さい。(文：古柴 敏夫)



(窯出し 私の作品はどれ?)

■書道入門コース■

書道入門の楽しみ方

現在の書道入門コース人員は、男：9名、女：15名。若干、女性上位のコースです。入学時の自己紹介は入門コースにふさわしく、筆を持つのは小学校低学年以来、数十年ぶりとのことでした。実際の技量内容も疑いもなく初心者で、全員密かにほっと胸をなでおろしていました。あれから7か月、久米先生の熱血指導のもと、各人それぞれではありますが、見違えるような技量の持ち主となり、自信にあふれる毎日です。特に、大学祭作品展は、額縁+表装+印鑑の強力3点セットの援軍を得て、本当に自分の作品かと疑うばかりの出来栄となりました。上海堂さん、ありがとう。コースには、①宿題が出る→どさくさまざれ対応。②授業ごとに作品が廊下に展示される→時間切れ狙い。③授業中は眠れない→高度のテクニックを要し、難易度が高い。等の3大特徴を有していますが、全員それなりの対応で充実した日々を過ごしています。(文：上山正明)



(講師のお手本を)